

[A] 次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- | | | | | | | |
|---|--|--|----------|----------|---------|--------|
| 1 いたし | ①ありがたい | ②すばらしい | ③いたたまれない | ④趣深い | 1 「 」 | |
| 2 さうざうし | ①物足りない | ②落ち着かない | ③もつたいない | ④縁起でもない | 2 「 」 | |
| 3 むつかし | ①つまらない | ②じれったい | ③うつとうしい | ④難しい | 3 「 」 | |
| 4 すさまじ | ①興ざめだ | ②風流だ | ③凡庸だ | ④格別だ | 4 「 」 | |
| 5 あだきなし | ①はなはだしい | ②喜ばしい | ③つまらない | ④おもしろい | 5 「 」 | |
| 6 月見る」とて上げたる格子下ろすは、何者のするぞ。いと便なし。(大鏡) | （訳）月を見るといつて上げたる格子を下ろすのは、何者がするのか。実に「 」。 | ①平凡なことだ | ②おかしなことだ | ③困ったことだ | ④冷淡なことだ | 6 「 」 |
| 7 あさましきまであいなう、面ぞ赤むや。(枕草子) | (訳)あきれるほど「 」、顔が赤らむことだ。 | ①むやみに | ②急に | ③自然に | ④本当に | 7 「 」 |
| 8 年ごろ、仏・神にいみじうつかうまつりつれば、何事もさりともと「そ頼みはべりつれど、かくいふかひなき死をさへせむことのかなしさ。(大鏡) | (訳)長年、神仏に熱心にお勤め申してきたので、何事もそうはいつても(末々悪いことはあるまい)と頼みにしてきましたが、このように「 」死に方までするということの悲しいことよ。 | ①ひどい | ②苦しい | ③寂しい | ④難しい | 8 「 」 |
| 9 あらぬよしなき者の名のりして来たるも、返す返すもすさまじといふはおろかなり。(枕草子) | (訳)(来るのを待っていた恋人とは)別の「 」人が名のつてやつて来たのも、本当に興ざめだという言葉では言いい尽くせない。 | ①有名でない | ②身分がない | ③裕福でない | ④関係がない | 9 「 」 |
| 10 かかる人も世に出でおはするものなりけりと、あさましきまで目を驚かし給ふ。(源氏物語) | (訳)(このような人もこの世に生まれておいでになるものだたのだと、「 」までに目をみはりなさる。 | ①崩れそうな | ②危険である | ③何の変化もない | ④作れない | 10 「 」 |
| 11 雪の山、つれなくて年も返りぬ。(枕草子) | (訳)(年の暮れに作り、じきに融けるだろうとみなが予想していた)雪の山は、「 」まま年も改まつた。 | ①行く先多かるに、大津のいどものむつかしき屋どもの中に、引き入りにけり。(蜻蛉日記) | 11 「 」 | | | |
| 12 さがなき童べどものつかまつりける、奇怪にさうらふことなり。(徒然草) | (訳)行先はまだ遠いが、(牛車は)大津のひどく「 」家並みの中に、入って行つた。 | ①むさくるしい | ②みすぼらしい | ③仰々しい | ④恐ろしい | 12 「 」 |
| 13 あだきなきことに心を占めて、生ける限りこれを思ひ悩むべきなめり。(源氏物語) | (訳)「 」ことに心を奪われて、生きている間はこれを悩まなければならないようだ。 | ①いたずらな | ②何も知らない | ③幼い | ④かわいい | 13 「 」 |
| 14 我がため面目あるやうに言はれぬる虚言は、人いたくあらがはず。(徒然草) | (訳)自分にとつて名譽になるように(他人から)言われた嘘は、人は「 」言い争つて否定しないものだ。 | ①何度も | ②ふつう | ③たいして | ④少しも | 14 「 」 |
| 15 何度も | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 |

15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
〔 ③ ② ① ① ③ ④ ④ ① ① ③ ③ ① ③ ① ② 〕